

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【公表番号】特表 2005-531201 (P2005-531201A)
 【公表日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-040
 【出願番号】特願 2004-515674 (P2004-515674)
 【国際特許分類】

H 0 3 K 17/96 (2006.01)

G 0 1 B 7/00 (2006.01)

【F I】

H 0 3 K 17/96 A

H 0 3 K 17/96 J

G 0 1 B 7/00 N

G 0 1 B 7/00 S

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 5 月 8 日 (2006.5.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

容量性タッチセンサであって、

実質的に平行な複数のセンサバーであって、前記容量性タッチセンサの全てのセンサバーは単一方向に方向付けられており、前記センサバーはピッチとサイズを有し、それにより任意のセンサバーにタッチすることにより測定可能な信号を当該センサバーの第 1 及び第 2 最も近い隣接するセンサバー上に生成するものと、

複数の対のリード線であって、該複数の対のリード線の数は一対のリード線のうちの 1 本のリード線は第 1 端部における関係するセンサバーに接続されており、前記対のうちの他の 1 本のリード線は第 2 端部における関係するセンサバーに接続されているものと、

を備えている容量性タッチセンサ。

【請求項 2】

前記センサバーとリード線は可撓性基板上に配置されている、請求項 1 に記載の容量性タッチセンサ。

【請求項 3】

前記可撓性基板はポリエステルを含んでいる、請求項 2 に記載の容量性タッチセンサ。

【請求項 4】

さらに前記センサバー上に配置された交換可能な保護素子を備えて、前記容量性タッチセンサへのタッチが前記交換可能な保護素子を介して感知されるようにした、請求項 1 に記載の容量性タッチセンサ。

【請求項 5】

前記センサバーがほぼ光学的に透明な材料を含む、請求項 1 に記載の容量性タッチセンサ。

【請求項 6】

前記センサバーがインジウム錫酸化物を含む、請求項 1 に記載の容量性タッチセンサ。

【請求項 7】

前記タッチセンサがディスプレイ装置の表示面に配置されるように構成される、請求項 1 に記載の容量性タッチセンサ。

【請求項 8】

前記複数のセンサバーは、前記センサバーの方向にほぼ直交する第 1 側部と第 2 側部によって境界が定められ、前記リード線の第 1 グループが前記第 1 側部に沿って配線され、前記リード線の第 2 グループが前記第 2 側部に沿って配線され、請求項 1 に記載の容量性タッチセンサ。

【請求項 9】

任意の一つのセンサバー用の 1 対の各リード線が略等しい電気特性を有する、請求項 1 に記載の容量性タッチセンサ。

【請求項 10】

前記タッチセンサは複数の入力域に分割されており、各入力域は前記複数のセンサバーと異なる一組のセンサバーに関係付けられており、さらに、前記タッチセンサにより生成された信号を受信して少なくとも 2 つの同時にタッチが生じている位置を識別するようになっている制御装置を備えており、前記複数の入力域の第 1 域における第 1 タッチが生じ、前記複数の入力域の第 2 域における第 2 タッチが生じるようにした、請求項 1 に記載の容量性タッチセンサ。

【請求項 11】

複数の入力域のうちの少なくとも 2 つが娯楽活動と関連するプレイ域を含む、請求項 10 に記載の容量性タッチセンサ。

【請求項 12】

前記娯楽活動が電子的に実行されるゲームを含む、請求項 11 に記載の容量性タッチセンサ。

【請求項 13】

前記プレイ域が並んで配置される、請求項 11 に記載の容量性タッチセンサ。